

自然体験活動指導者養成研修会

補助指導者

第1回 平成23年8月2日(火)～8月5日(金) 3泊4日 参加者308名

第2回 平成23年8月9日(火)～8月12日(金) 3泊4日 参加者244名

自然に親しむ体験活動の教育的効果高めるとともに、青少年が安心・安全に体験活動を実施できるための指導者を養成するための事業です。そこで、自然体験活動の理論や技術を学習するとともに、その成果を生かして、小学校の自然体験活動(長期宿泊体験)のプログラム企画・実践する力を養いました。

基本プログラム

1日目	2日目	3日目	4日目
13:00…開講式	9:00…技術(登山)	9:00…体験活動の技術指導法①	9:00…安全管理 11:00(救急救命法等)
13:30…講義「学校教育における体験活動の意義」)	10:30…演習(班活動)	11:30…閉講式
16:00…講義「教育活動と体験活動の関連性」		16:00	
19:00…プログラムの企画・立案	19:00…自然体験活動の技術(キャンプファイヤー)	17:30	
21:00	21:00	19:00…体験活動の指導法②	
		21:00	



なぜ今自然体験活動が重要なのか理解を深める講義です。



アイスブレイクの効果、そして手法を、実際に体験して学びました。



乗鞍岳 3,026mにグループで挑戦し、全員登頂し支え合いの大切さと達成感を味わいました。

<まとめ>

岐阜県の新規採用教員全員が研修に臨み、自然体験活動の教育的効果を、身をもって感じ取ることができた。また、学校現場や日常に生かすことのできるスキルを身につけることができた。

今後、自然体験活動(小学校における長期宿泊体験)を推進していく上で、学校の中心的な役割を果たしていくことが期待される。